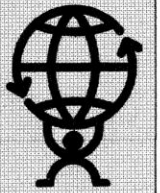




サポート隊通信



平成 26 年 3 月 1 日 第 5 号

レイカディア大学米原校サポート隊 第二期新体制スタート

サポート隊活動は、いよいよ四年目に入りました。過去三年間の活動の反省に基づいた、環境変化に対応するための新しい体制の基本については、昨年十月の定期総会で承認されました。総会の決定に基づき、活動の詳細を役員会、調整会議などで検討してきた結果がまとまりました。活動計画については部会ごとに現役学生、事務局と協議中です。



新体制のポイント

部会に一本化。』

活動を交流行事の開催と学習講座支援にシフトしました。

との相互理解を強化していきます。

園芸・地文・健康づくり学科の三つのサポートグループ新設。

隊員相互の協力体制構築

サポート活動の、効率と質的向上のために不可欠な、隊員同士の協力体制作りを推進します。

隊員は所属部会・グループで計画立案に参画。同時に別のグループの行事支援メンバーとしても活動

会計処理の明確化
社協より支払われる謝金を活動資金としているが、その出所と会計報告の規定が無かった為、規約を改正。

新たに監事役を設け、会計条項も追加。

米原校サポート隊（第2期）体制

サポート隊役員会
(隊長、副隊長、副部会長、総務、学生代表)

米原校サポート隊 (43名)

隊長 藤居忠治 (32期園芸)
副隊長 守野吉一 (33期園芸)
監事 園城 忠 (31期地文)

総務<事務局業務> (2名)

児玉 正孝 (32期地文)
川村 正司 (33期園芸)

サポート活動調整会議

- ① 正副部会長、総務 監事
- ② 同窓会代表 副会長
- ③ 学生代表
35期生(園芸・北近江文化・健康づくり各学科各正副学科長)
- ④ 学校事務局 本部、米原校

総務・講座・学生支援部会 (32名)

部会長 藤居 忠治 (32期園芸) (兼)

副部会長

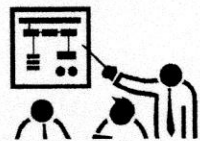
(講座サポート 園芸学科担当)	真壁栄禧 (32期園芸)
(// 地域文化学科担当)	百田勝彦 (32期地文)
(// 健康づくり学科担当)	居原田金治 (33期健レク)
(年間行事 大学祭担当)	長谷部森彦 (32期園芸)
(// 交流行事推進担当)	山岡 勉 (33期園芸)

広報・情報部会 (9名)

部会長 守野吉一 (33期園芸) (兼)

副部会長 中川義亮 (31期園芸)

// 宮田郁子 (33期健レク)



サポート隊の再委嘱・役員再任を可能にしました。

組織の統合

昨年より学校事務員が二名となり、講座支援部会の事務手伝いが不要となりましたので、「総務・講座・学生支援

登録数の確保
米原校サポート隊(第一期)の方の任期が、昨年九月で終了。そのまま全員が退任されると、登録人数が半減(三四期生の方が入られても、七十七名が三十名弱になります)。最大の障害が「サポート1任期は三年、役員は二年で再任は認めない」にあると認識、組織の維持運営を図るため、規約を改定。

在校生と連携強化
在校生の卒業時のサポート隊登録率が低いのは、在校生との相互理解(働きかけ)が弱いのがその一つと考えます。結果、サポート隊を含む卒業生の多くは、卒業後学科毎の縦の繋がりが重視で活動されている。サポート隊もそれに準じた縦の繋がりで支援すれば、学校も講師や学生の協力要請に応え易く、メンバーが少なければ、同級生への声掛けも容易となります。年一回程度は学科毎に、在校生サポート隊・同窓生・地域の方々の帯同行事を計画。在校生

サポート隊の活動内容（範囲）と人員

[会議と役割]・・・サポート活動のスムーズな実施のために、「調整会議」[役員会]があります。

部門（会議）	人数	メンバー	役割
調整会議	21名	サポート隊役員、 同窓会代表、学校事務局	サポート隊活動の方向を協議、調整する
役員会	10名	サポート隊隊長、部会長、 副部会長	サポート活動のスムーズな実施のために、担当部門の情報共有と調整。
サポート隊	43名	レイカティア大学学長より委嘱を受けた卒業生	サポート活動実施。

・メンバーは、企画計画を担当するグループに所属。
・同時に、行動支援メンバーとして、別のグループにも登録。
・協力してサポート活動を推進。

[担当と活動内容] * **新入生募集活動は、サポート隊全員で取り組みます**

部会	分類	担当	サポート内容
総務・講座・学生支援部会	講座サポート担当	園芸学科担当	<ul style="list-style-type: none"> 講師・学生・事務局依頼に基づくサポート（学科別） 学科別親睦行事開催（在校生帯同）
		地域文化学科担当	
		健康づくり学科担当	
	年間行事サポート担当	大学祭担当	<ul style="list-style-type: none"> 大学祭の企画立案と実行（主体の学生と協同）
		交流行事推進担当	<ul style="list-style-type: none"> 横断的交流行事の開催推進（サポート隊、学生、OB、地域との交流）
	総務担当	事務局	<ul style="list-style-type: none"> サポート隊共通資料作成管理 各会議の開催事務局 学生募集支援関係業務 サポート隊登録業務
地域活動サポート		<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの日推進 地域活動ガイダンス開催 	
広報・情報部会	情報担当	広報担当	<ul style="list-style-type: none"> 学生募集の広報 サポート隊通信発行 サポート隊ホームページ管理・運営
		情報担当	<ul style="list-style-type: none"> パソコン教室開催 学科別ホームページ運営指導とサポート



[部会別人員]

部会	構成人数（名）	
総務・講座・学生支援部会	企画計画担当	（支援）
総務・講座・学生支援部会	園芸担当	6（8）
	地域文化担当	6（2）
	健康づくり担当	5（6）
	大学祭担当	12（5）
	交流行事推進担当	3（6）
	総務担当（地域活動サポート・事務局）	2（-）
	小計	34（27）
広報・情報部会	9	（6）
サポート隊合計	43	（33）

サポート活動の人手が不足しています。
同窓生メンバーの動員をお願いします。

部会からのメッセージ(順不同)

大学祭担当
副部会長

長谷部 森彦

大学祭に少しでも多くの地域の皆様に見学に来ていただくことで、レイカディア大学の活動内容への興味と理解を喚起し、入学したいという気持ちになるよう学生の皆様と協働で大学祭を盛り上げる企画を立案、実行していきたいと思えます。

具体的には学生の皆様やメンバーの皆様と検討を重ね決定しますが、すこしでも新しい内容を取り入れることができればと思います。

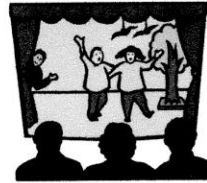
早急の課題としてはテーマの設定、プレゼント、展示作品、ステージ発表、実演、余興等の内容の検討などがあります。今年度は、開催予定日(七月三十日)八月一日)が学校の夏休み中であることを考え、主に小学生を対象としたイベントを計画したらどうかと考えます。

また、展示作品・ステージ発表・実演・余興につきましても、昨年度ご協力を頂いたOB・OGの皆様はもちろんできる限り新規の皆様にご協力いただいで取り組みたいです。サポーターの皆さんも「こんな活動をしていいよ。一度大学祭に展示するよ。是非推薦を」と言っておられる方は是非推薦をお願いします。

お願いします。

ともかく、大学祭を盛り上げることで、レイカディア大学への関心を持っていただく、仲間の輪を広げることができ、学生・部会メンバーで知恵を絞っていききたいと思えます。

特に小学生対象のイベントのアイデアについては、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



健康づくり学科担当
副部会長

居原田 金治

レイカディア米原校サポーター隊に参加して一年が経過しました。

在校生の授業(必修および選択)のお手伝いをお願いし入隊いたしました。

昨年行事「キノコの観察会」にスタッフとして参加してきました。

今年度の行事については在校生を中心にOB・OG生との連携を保てる行事を組み立て、少しでもレイカディアの存在を知って頂ければと思っ

ています。

具体的には部員のみなさんや、在校生の意見を聞き入れ、次のような行事の組み立てをして行きたいと思えます。

①授業内容の流れを見ながら、レク・健康づくりの遊び感覚を持つ行事(ゲーム、スポーツ等)。

②在校生の卒業後の地域活動の一つの手法として生かせる行事。

③各種の施設へのボランティア等の共同行事。

サポーター隊の皆さんの支援助と協力を得て、この一年活動を進めればと思っています。ご協力をお願いします。

園芸学科担当
副部会長

真壁 栄禧

平成二十六年年度園芸学科サポーター隊では在校生の交流支援を重点化し、講師、レイカディア大学、関係機関と連携協議しながら活動を進めてまいりたい。

計画(案)として、甲良養護学校、米原市青岸寺、彦根市さざなみ学園等の剪定、葉刈り作業、併せてレイカディア大学の理念精神に基づき「ポランティア活動」地域の担い手の活動を推進

する所存です。



地域文化学科担当
副部会長

百田 勝彦

平成二十六年年度、レイカディア大学、在校生、講師の方々の連携を密にし、在校生の要望を受け活動を進めたい。現在「紙芝居の作成」にOB3名が参加、自分達の経験を活かしてお手伝い実施中。

卒業後のポランティア活動についても我々の活動を報告していきたい。

応援にはサポーター隊は勿論のこと、OBにも呼びかけ応援が的確に出来る様、調整していきたいと考えています。

交流行事推進担当
副部会長

山岡 勉

平成二十六年年度の交流行事の推進予定は、三月中旬に愛知川葉枝見橋付近(東近江側)において、河畔林の整備と六月頃、同じ所で箭とり・竹細工の工作を兼ねた河畔林整備を行います。河畔林の会とサポーター隊はじめ、レイカディアOB、在校生、地域住民の皆さんが大勢の参加

が必要で、よろしくお願います。

他に秋にも交流行事を検討しております。



広報・情報部会
部会長

守野 吉一

第二期体制になって、ようやくサポーター隊設立の主旨にそった活動の方向性が見えてきました。

しかし、具体的な活動となるとまだまだ走りながら内容を変えざるを得ない事が多々ある事と思えますが、二十六年年度 広報・情報部会の活動計画に基づいて、サポーター内容をより充実したものへと鋭意努力、推進したいと考えています。特に、「パソコンをはかるべく、みんなで楽しくパソコン学習にチャレンジしたい」と考えています。

新しい体制下のもと、各部の活動がスムーズに展開できる様サポーター隊のサポートに注力します。昨年からは津校サポーター隊や同窓会との連携も始まり在校生を交えた交流行事の拡大と充実化を目指します。

総務(事務局)
副部会長

児玉 正孝

在校生の卒業後の活動が、ともすれば同級生中心になる事から、先輩諸氏・地域の皆さんとの交流を在学時から進め、卒業後はそれらの団体に自然体で入る環境づくりも、これからのサポーター隊の役目かとも思っています。



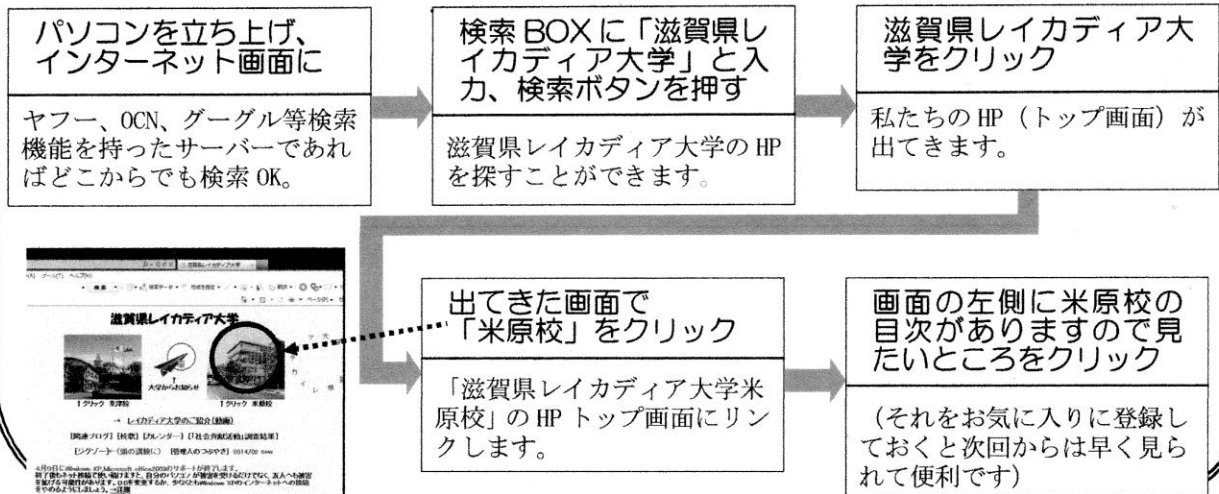
サポート隊の活動計画（具体化は、学生、事務局などと協議中です）

月	活動内容	担当	概要
2月	サポート隊通信発行	広報・情報	新体制の告知
3月	愛知川河畔林整備(ボランティア) 学科サポート	交流行事推進担当 学科担当	サポート隊、OB、地域の方、在校生講師、学校の要請によってサポート
4月	日野雲迎寺のサツキ剪定実習支援	園芸学科支援グループ	講師、学校の要請によるサポート
5月	パソコン入門講座 学科サポート	広報・情報 学科担当	学生の要望で内容決定 講師、学校の要請によってサポート
6月	サポート隊通信(募集編) 学科サポート	広報・情報 学科担当	募集活動に特化 講師、学校の要請によってサポート
7月	37期生募集活動支援 大学祭 学科サポート	全員 大学祭担当 学科担当	全力を傾注 当日は、全員でサポート 講師、学校の要請によってサポート
8月	交流行事 サポート隊登録勧誘 学科サポート	交流行事推進担当 隊長・総務 学科担当	当日は、全員でサポート 日程は学校と調整 講師、学校の要請によってサポート
9月	サポーター終了者の再委嘱勧誘	各分会、各学科担当	対象：32期生とその前の再委嘱者
10月	地域体験ガイダンス 定期総会	総務 各分会、各学科担当	37期生への地域体験事例発表 活動実績報告、次年度重点取組み、他
11月	次年度新体制スタート	各分会、各学科担当	役員交代引継ぎ、次年度活動計画

ワンポイント教室 「ホームページの見方」

◆◆「サポート隊ホームページ」公開中！！ 月に1度は開きましょう！！◆◆

開き方は簡単です！！ まずチャレンジしてみてください。



滋賀県レイカディア大学米原校
サポート隊通信
平成26年3月1日第5号

発行：滋賀県レイカディア大学米原校サポート隊
(広報・情報部会)
□米原市下多良 2-137(県立文化産業交流会館)
滋賀県レイカディア大学米原校内
□電話：0749-52-5110

編集後記
平成二十六年も早くも二月が過ぎました。今年には特に関東以北では記録破りの大雪で、ご苦労されていますが、湖北ではほとんど積雪もなく、穏やかな気候となっています。例年では考えられない事態で、これも異常気象の一種といえましょうかね。
さて、サポート隊通信第5号をお届けします。今号は、新体制になった初めての発行で、本年度の各担当のみなさんからの意欲あふれる意気込みをお届けします。サポート隊として目的をはっきりと定めた具体的な取り組みがターゲットになっています。
各位におかれても、目標はひとつ「レイカディア大学の充実と発展」です。協力して活動を進めましょう。
(中川記)